

Roxtec 潤滑剤

編集: 2018-03-26

更新: 2018-03-26

内部文書番号 改訂: 1

改訂: -

セクション 1 – 識別: 製品識別情報と化学 ID

1.1 製品識別情報

Roxtec 潤滑剤

CAS 番号: 61789-97-7

EC 番号: 263-099-1

1.2 化学薬品の推奨使用法および使用制限

Roxtec 封止システム部品の潤滑

1.3 サプライヤ情報

Roxtec International AB

Box 540, 371 23 Karlskrona, Sweden

電話: +46 455 36 67 00

Fax: +46 455 820 12

info@roxtec.com

www.roxtec.com

1.4 緊急連絡先

公益財団法人 日本中毒情報センター 大阪情報サービス支局（大阪中毒110番）

緊急連絡先 : +81 (0)72 727 2499

24時間対応。一般専用。

セクション 2 – 危険物の識別

2.1 物質または混合物の分類

この物質は、CLP 規則 EC 1272/2008 あるいは化学品の分類およびラベリングに関する世界調和システム (GHS) 2015 改訂 6 にしたがって、危険物に分類されていません。

この物質は、REACH 規則、EC 1907/2006 第 32 条あるいは化学品の分類およびラベリングに関する世界調和システム (GHS) 2015 改訂 6 に準拠した安全データシート要件の対象ではありません。

2.2 ラベル要素

本製品には、マーキングまたは宣言が必要な、物質または同物質の濃度レベルは含まれていません。

2.3 他の危険物

本製品には、PBT または vPvB 物質は含まれていません。

セクション 3 – 組成と成分情報

3.1 物質

本製品には、マーキングまたは宣言が必要な、物質または同物質の濃度レベルは含まれていません。

油脂（油脂）: CAS 番号: 61789-97-7、EC 番号: 263-099-1.

3.2 混合物

該当なし本製品は物質です。

セクション 4 – 応急措置

4.1 必要な応急措置に関する説明

肌に触れた場合: 石鹼と水で洗浄してください。
眼に入った場合: 純粋でよくすすいでください。

4.2 最重要な症状/作用、急性と遅発

肌に触れたり、眼に入ったりした場合、軽い発作を起こすことがあります。

4.3 即時医療措置および必要時は特殊治療が必要な場合の兆候

即時医療措置または特殊治療は不要です。必要な場合、対症療法。

セクション 5 – 消火方法

5.1 適切な消火剤

適切な消火器: 乾燥粉末、フォームまたは CO
適切ではない消火器: 水

5.2 化学薬品が原因の特定危険物

加熱油脂は引火性および刺激性ガスを発生する場合があります。燃焼時の一酸化炭素および二酸化炭素ガス

5.3 消防士に必要な特別保護措置

欧洲規格 BS EN 469、手袋 (BS EN 659) と長靴 (HO 仕様 A29 および A30) または同等の要件に準拠した通常の消防士用保護服を着用してください。自給式開回路正圧型圧縮空気呼吸装置を使用します (BS EN 137)。

セクション 6 – 事故解除措置

6.1 身体上の注意事項、保護装置および緊急対応手順

非緊急個人および緊急対応者向け: 必要に応じて、エネルギー試験済みの「低耐化学薬品性」
保護手袋および安全眼鏡を使用します。

6.2 環境上の注意事項

製品の排出口、下水システム、水面および地下水への漏洩を防止します。

6.3 散逸防止および洗浄方法と材料

滑る危険がありますので、その防止のため、漏洩物は速やかに除去します。排出口を覆い、温水と吸収材で製品の漏れを解消します。

6.4 他のセクションの参照

保護設備および処分時の注意点については、セクション 8 および 13 を参照してください。

セクション 7 – 取扱いと保管

7.1 安全取扱い上の注意事項

滑る危険がありますので、その防止のため、漏れを防止します。
排水口および水面と地下水への製品の漏れを防止します。
使用後は、手をよく洗浄してください。
本製品の使用中は、飲食または喫煙はしないでください。
汚れた衣服および保護設備は、食事する区域に移動する前に、脱いでください。

7.2 配合禁忌を含む、安全保管の条件

特別推奨事項はありません。可能な場合は、冷却保存をお勧めします。

7.3 各最終用途

関連情報はありません。

セクション 8 – 暴露管理および身体保護

8.1 制御パラメータ

この物質に暴露限界値はありません。

8.2 暴露管理

敏感な方は、アレルギー検査済みの「低耐化学薬品性」保護眼鏡を使用することができます。
飛散のリスクがある場合は、必要に応じて、安全眼鏡を着用してください。

環境暴露管理については、セクション 6、12 および 13 を参照してください。

セクション 9 – 物理および化学特性と安全特性

9.1 基本的な物理および化学特性

a) 外観 (形態と色)	白色グリス、糊
b) 臭い	多少の油脂臭
c) 臭い閾値	該当なし
d) PH	該当なし
e) 融点/冰点	該当なし
f) 初留点と沸騰領域	該当なし
g) 引火点	約 +280 °C.
h) 蒸発率	関連なし
i) 引火性	該当なし
j) 引火上限界/引火下限界または爆発限界	該当なし
k) 蒸気圧	関連なし
l) 蒸気密度	関連なし
m) 相対密度	890 kg/m ³
n) 溶解性	有機溶剤で溶解、水溶性なし
o) 分配係数: n-オクタノール/水	該当なし
p) 自然発火温度	関連なし
q) 分解温度	該当なし
r) 粘度	関連なし
s) 爆発特性	関連なし
t) 酸化特性	関連なし

9.2 その他の情報

該当なし

セクション 10 – 安定性と反応性

10.1 反応性

通常の使用状態では危険な反応を引き起こす条件は確認されていません。

10.2 化学安定性

本製品は、通常の使用および保管状態では安定しています。

10.3 危険な反応の可能性

通常の使用状態では危険な反応を引き起こす条件は確認されていません。

10.4 忌避が必要な状態

非常な高温

10.5 配合禁忌物質

通常使用の場合に配合禁忌物質は確認されていません。

10.6 危険分解製品

通常状態の使用の場合に危険分解製品は確認されていません。

セクション 11 – 毒性情報

11.1 毒性作用に関する情報

a) 急性毒性

いずれの危険物にも分類されていません。

b) 肌腐食/刺激

いずれの危険物にも分類されていません。

c) 重度の眼の損傷/眼への刺激

いずれの危険物にも分類されていません。
d) 呼吸器または肌感作
いずれの危険物にも分類されていません。
e) 生殖細胞変異原性
いずれの危険物にも分類されていません。
f) 発癌性
いずれの危険物にも分類されていません。
g) 生殖毒性
いずれの危険物にも分類されていません。
h) 特定標的臓器毒性 – 1回暴露
いずれの危険物にも分類されていません。
i) 特定標的臓器毒性 – 再現暴露
いずれの危険物にも分類されていません。
k) 吸引の危険
いずれの危険物にも分類されていません。

可能性のある暴露経路に関する情報

肌に触れたり、眼に入ったりした場合、軽い発作を起こすおそれがあります。

物理、化学および毒性特質に関する症状

情報は確認されていません。

遅発および即時作用、また短期、長期暴露による慢性作用

推定される作用はありません。

毒性の数値測定（急性毒性推定など）

確認できる情報はありません。

相互作用

確認できる情報はありません。

セクション 12 – 生体情報

12.1 毒性

水中生物に対する毒性はありません。

12.2 持続性と分解性

生物分解性があると思われます。

12.3 生体内蓄積能

この物質は危険物には分類されていません。

12.4 土壤中の流動性

水溶性はありません。生物分解性があると思われます。

12.5 PBT および vPvB 評価の結果

本製品には、PBT または vPvB 物質は含まれていません。

12.6 他の副作用

副作用は確認されていません。

セクション 13 – 処分時の注意事項

13.1 水処理方法

本製品は、有害廃棄物に分類されていません、国および地方の廃棄物管理法への順守が必要です。物質の廃棄物処理として、堆肥化または焼却が可能です。クリーンパッケージの廃棄物処理として、焼却またはリサイクルが可能です。
下水処理します。

セクション 14 – 搬送情報

本製品は、国際海上危険物規則 (IMDG) および国際民間航空輸送協会 (IATA) 規則の危険物の陸路輸送 (ADR) および鉄路輸送 (RID) 規則の現行条項においては危険ではありません。

14.1 国連番号

危険物として分類されていません。

14.2 国連適正輸送名

該当なし

14.3 輸送危険分類

該当なし

14.4 梱包グループ

該当なし

14.5 環境上の危険物

該当なし

14.6 利用者への特別注意事項

該当なし

14.7 MARPOL 73/78 および IBC 規則付録IIに準拠した一括輸送

該当なし

セクション 15 – 規則情報**15.1 物質または混合物別の安全、衛生および環境規則/法制**

化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規則 (REACH) に関する 2006 年 12 月 6 日 1907/2006 EC 規則
分類・ラベリング・包装規則 (CLP) に関する 1272/2008 EC 2006 年 12 月 16 日規則
本製品には、危険物質は含まれていません。

15.2 化学安全評価

この物質について、化学評価は実施されていません。

セクション 16 – その他の情報

このバージョンは以下の更新安全データシートに入れ替えます。新規
更新 SDS の変更理由: 新規